



富士宮高校会議所

「富士宮をマスマス元気にしたい!!」高校生たちの

主体的な地域貢献ボランティア集団

議会だより編集委員会が直接話を聞いて市民の本音に迫る「あなたにスポットライト！」。第二回目は今年で十年目の活動を迎える富士宮高校会議所の皆さんにお話を伺いました。

富士宮高校会議所とは？

2016年2月に、高校生の視点で富士宮市を元気にし、地域がにぎわうようにするため、イベントや新商品を創り、持続可能な社会を創り

出す」とねらいとしてできた高校生の集まりです。

当時「西町から富士宮を元気に！」の思いがあり「西町レトロ館」を本部とし、話し合いなどの活動の中心場所にしています。メンバーは現在31人の中高生で構成されています。

富士宮高校会議所に参加しようと思つたきっかけは？

参加のきっかけは多種多様です。母親の勧めで中学3年生の冬から活動しているメンバー、様々なことを体験したいという好奇心から参加を決めたメンバーがいます。また、学校生活を通じて地域貢献に関心を持ち、「社会貢献についてもっと学びたい」と決意したメンバーもいます。

さうに、福祉科に所属する高校生は「わっと身近にある福祉に触れた

atelier QUOKKA様、富士市立吉原一中等特別支援学校級関係者のミュー



▲富士宮高校会議所の皆さん



▲取材の様子

ジックブル演奏チーム ミュージックドベル演奏に魅了され、活動を続けている仲間がいます。今年も公民館祭りで演奏を披露するため、熱心に練習に励んでいます。

特に力を入れている活動は？

活動の核は、持続可能な社会づくりです。

富士宮市特産のニジマスと朝霧牛に着目し、これまで廃棄されていたニジマス残渣と朝霧牛の糞尿を再利用し、堆肥「マスマス元肥」を開発しました。この「マスマス元肥」を活用し、トウネツ様協力のもとサツマイモを栽培しました。さらに菓子処藤太郎様とのコラボスイーツ「マスマス元気いもプリン」を開発し、今年のプリン祭りで販売するという実績も上げています。

現在は、和紅茶の商品化、ひまわり油の製造、ジャンボカボチャ栽培

のコラボ活動「富士宮をアート（絵画・音楽・笑い）で元気に！」や、スペイン・パキスタンの若者とのオンライン交流会にも挑戦しています。

市民の方々へのメッセージ

いつも私たち富士宮高校会議所に多くのお力添えをいただき感謝しています。今後ともサポートをお願いいたします。

学業、部活動優先が原則であります。が、みんなの意見を聞き、楽しく活動しています。世代を超えたイベントなどで交流し、皆さんのが笑顔になることがうれしいです。多くの高校生に入所していただき、主体的に高校生の視点で富士宮をさらに元気にできたらと思います。

委員からのエール

皆さん、楽しんで活動されていると感じました。何事も継続するのは難しいですが、「富士宮を元気に！」と真剣に向き合っている富士宮高校会議所を、私たちは応援していますので頑張ってほしいと思います。

（文責・近藤千鶴、平下尚）

の推進など、新たな商品開発を進めています。

また、静岡県立富士特別支援学校富士分校卒業生のアートクラブ atelier QUOKKA様、富士市立吉原一中等特別支援学校級関係者のミュー